草木リサイクル
実証事業報告

平成27年2月18日

宇部市廃棄物対策課

1 事業の概要について

ごみの減量化とリサイクル率の向上のため、新たなリサイクルシステムを検討することを目的に、燃やせるごみの中でも特に水分量が多い草木を対象に、民間事業者による継続的なリサイクル処理の可能性を検証しました。

２ 事業内容

(1)対象とした草木

自治会清掃で排出される草木
（現行の収集体制を変更することなく収集が可能）

(2)実施期間

〇春季：平成25年5月上旬～6月下旬
〇秋季：平成25年9月下旬～11月初旬

２ 事業内容

(3) 収集・運搬

〇収集車両：バケット付き4tダンプ
〇収集人員：2名(臨時職員)
〇収集場所：自治会が指定する集積場所
〇搬入場所：民間事業者のリサイクル施設

２ 事業内容

(4) リサイクル処理

〇処理内容：チップ化処理後、バイオマス燃料として発電施設で再利用

3 実証事業の結果

(1) 収集・運搬について

〇リサイクル施設の所在地の関係で、平均収集量が約1t/日減少。

＜実証事業で収集した全量の回収日数＞

- 市焼却場に搬入：49日
- 民間リサイクル施設に搬入：68日

※処理施設所在地：藤河内(小野)

処理施設の所在地により、収集・運搬に係るコストは大幅に異なってくる。

- 焼却処理の場合：　931,000円
- リサイクル処理の場合：1,292,000円

361,000円の経費増

※収集運搬経費は、19,000円/日(9,500円/日×2人)で試算。

３ 実証事業の結果

(2) リサイクル処理について

〇民間事業者のリサイクル施設にてチップ化処理
～発電施設でバイオマス燃料として再利用

↓

品質的に問題がないことを確認

〇6月上旬に民間事業者が草木のリサイクル事業を急遽廃止したため、処理継続が不能に

↓

リサイクル処理は5～6月分で終了、残り期間の草木は重量を記録の上、焼却場に搬入

3 実証事業の結果

(3) 処理経費について

○リサイクル処理単価は、焼却処理単価の約1.9倍

リサイクル処理単価：35,700円/t （H23焼却処理原価：18,791円/t）

↓

リサイクル処理経費：7,607,670円※

※実証事業における実際の処理単価をもとに、今回収集した全ての草木をリサイクル処理した場合について試算。

３ 実証事業の結果

(4) 今後の展望

〇実証事業終了時点において、市内に草木のリサイクル処理を実施する業者が不在のため、事業の本格実施は困難

↓

リサイクルを推進する場合、市独自の処理を含め、新たなリサイクルシステムについて検討が必要

〇リサイクル処理に係る経費や、リサイクル処理により草木の焼却量が削減された場合の焼却場における処理経費の削減効果等について、総合的に比較・検証する必要あり